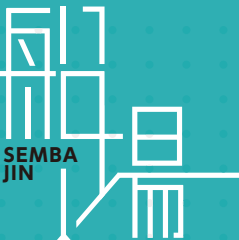




今日からあなたも

**SEMBA
JIN**

船場ガイドブック
2017



今日からあなたも船場人 船場ガイドブック 2017

目次

- ようこそ 船場へ1
- 船場の縁「へり」2
- 船場MAP11
- 船場のおすすめ13
- 船場生活手帳15
- 協賛広告17

ようこそ船場へ

船場は、大阪の歴史的な中心部にあり、太閤さんによってつくられた、古くて新しいまちです。今も格子状の街路をそのままに、まちのそこそこに歴史が語りかける物語や、思いがけない多様なまちの営みを発見できます。そんな船場を知ってもらえることを願って、私たちは、毎年新たな気持ちでこのガイドブックを作っています。今年も、船場で住み、働き、遊ぶ私たちが、一生懸命考えて作ったガイドブックをお届けすることができました。船場に関心のある人、ない人、どなたでもこれを手にして、まちに足を運んでいただけたら、そして、存分に楽しんでいただけたら、私たちはとてもうれしく思います。さあ、「今日からあなたも船場人」。皆さんとご一緒に、まちへ出かけてみることにしましょう。

船場げんきの会
愛日地域活動協議会

船場とはどんなまち

船場の位置と特徴

船場は、大阪市のほぼ中央に位置して、北は土佐堀川、東は東横堀川、南は長堀通、西は旧西横堀川（現阪神高速道路）に囲まれた南北2.1km、東西1.1kmの約230haの区域をいいます。かつて四方を運河に囲まれ、大阪城に通じる東西の「通り」を軸として発展、これに南北の「筋」が交錯する格子状のまちがつくられ、今もまち割りが残っています。明治以降、堺筋や御堂筋等の拡幅により、人の流れは南北の「筋」が中心となりました。通りや筋の沿道には、現在も近代建築はじめ歴史的な建物が数多く見られます。

船場400年のあらし

船場は、豊臣秀吉による大坂城築城に合わせ、西側の砂州の埋め立てで生まれたまちです。大坂夏の陣、明治維新、太平洋戦争と、船場は幾度も壊滅的被害を受けますが、その度に新たな人びとを惹きつけて蘇り、かつての伝統と融合して新しい時代の船場の魅力を創りだしてきました。

水運の拠点から商都へ

江戸幕府直轄地後、更に埋め立ては拡大され、船場は水運の拠点となり、全国から人と富と情報を集積、大阪が城下町から経済都市に変容します。船場では金融・業・繊維・雑貨など多くの問屋が繁栄します。

商都大阪の中心から町人文化の発信

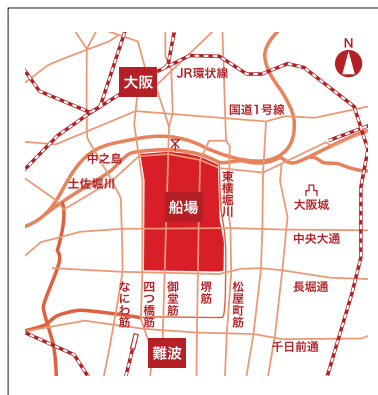
この間、近松門左衛門に代表される文芸・芸能をはじめ、多くの町人学者を輩出した懐徳堂など、なにわ商人の誇りある町人文化が育まれ、継承されました。

近代化による大大阪へ

明治維新により、大阪の経済的基盤は壊滅的打撃を受けますが、その後急速に工業都市化し発展。大正期には「大大阪」と呼ばれる時代を迎え、モダンで最新の都市文化スタイルを創造しています。

キタにもミナミにもないまちへ

戦後の復興を支えてきた船場も、昭和40年代後半からの繊維不況や産業構造の変化で、かつての賑わいを失っていきました。戦前（昭和15年）には約6万人あった人口も、一時約4千人まで減りましたが、2014年以降、約1万人を超えるまでに回復してきました。昼間は約25万人が集中する業務都心に変わりありませんが、商業・業務機能の中心がキタとミナミへ集中するなかで、キタにもミナミにもない船場独自の存在価値がいま見直されています。



船場の位置



幕末から明治の大阪・船場（明治5年）



船場の縁「へり」

特集

船場の縁を訪ねて

船場は、土佐堀川、東横堀川、西横堀川、長堀川の4つの堀川に囲まれ、水辺を縁とするまちでした。江戸時代、大量の人や物資を輸送するのは船であり、大阪は大川、淀川を通して京につながり、瀬戸内海を介して全国諸藩と結ばれていました。そして、その中心に船場がありました。堀川は物や人々を結びつけ、産業・経済を発展させ、人々の暮らしを支え、まちを特徴づけてきました。そのまちの姿や風景は、浪花百景や名所図会に描かれています。しかし、明治以降は産業の近代化、人口の増加、市街地の拡大とともに、水運から陸運への変化。さらに戦後には、交通の高速化、河川の水質汚濁などにより、人々の暮らしは水辺から遠ざかっていきました。船場の水辺の縁であった長堀川、西横堀川はなくなり、道路、高速道路に変化しました。その船場の縁の今昔を訪ね、失われた水辺とともに新たな縁から生まれるまちの姿を考えてみましょう。

船場の縁は、どのように生まれたか

船場の地は、淀川と大和川が、合流して流れる大川が上町台地の西方につくりました砂州でした。

大坂城の外堀 東横堀川

1583年（天正11）、秀吉が石山本願寺跡に大坂城を築城するにあたり、諸大名の屋敷とともに、伏見・堺はじめ諸都市から商人を呼び寄せ、城下町づくりが始まります。そして大坂城の西側に外堀として開削されたのが東横堀川でした。秀吉が全国平定を進めていくなかで大坂城の拡張が行われ、大坂城を囲む惣構（北は土佐堀川、東は猫間川、南は空堀、西は東横堀川）が1596年（慶長1）に完成します。

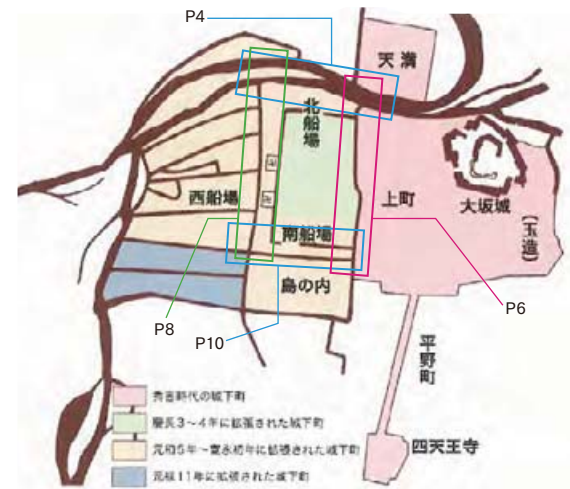
大坂町中屋敷替と船場

1597年（慶長2）から、秀吉は大名屋敷を伏見から大坂城を囲む惣構内へ移転させ、そして惣構内にいた町人たちを東横堀川の西側を造成して移住させました。これが船場の始まりです。船場の西の縁には、すでにこの地にあった御霊神社に加え、坐摩神社、難波神社、北御堂、南御堂が移転します。この当時の船場の縁は、概ね東は東横堀川、西は北御堂と南御堂が並ぶあたり、北は伏見町通あたり、南は博労町通が順慶町通あたりとされています。その後、西横堀川が1600年（慶長5）に開削され、長堀川は大坂夏の陣の後の江戸時代、1622年（元和8）に開削され、四方が堀川に囲まれた船場となります。

難波橋から見た船場の縁（土佐堀川）

船場の発展

江戸時代に入って、中之島の両岸に諸藩の蔵屋敷が並び建ち、船場には両替屋、米問屋などの大店が集まり中心性が高まるとともに、江戸堀、京町堀をはじめとする多くの堀川が整備され、市街地が西に拡大していきます。



船場の発展図 大坂城下変遷図

北の縁

今

2008年にオープンした「北浜テラス」を運営している「北浜水辺協議会」の理事長出崎栄三さん、理事（前事務局長）山根秀宣さんにお話を伺いました。

きっかけはそば屋「てる坊」

約十年前までは、北浜に川床はありませんでした。明治時代に先祖が北浜で料理旅館を経営していたそば屋「てる坊」のオーナーが、そば屋を開業する際に着物を着た旦那衆が土佐堀川に浮かぶ船から旅館に上がる当時の写真を見つけた。以来、川から船で乗りつけ、昔のにぎわいを取り戻したいとの想いを持つようになりました。2007年、夏の天神祭の時期にオーナーが、大阪府の許可を得た工事用足場を川床風にして楽しんでいました。このアイデアは、北浜から水都再生をしたいと考えていた山根さんたちの共感を呼び、さらに地域に呼びかけていくきっかけになりました。

「水都大阪2009」の社会実験で「北浜テラス」誕生

2001年、水都大阪を復活させる官民連携の都市再生プロジェクト「水都大阪のまちづくり」がスタートし、道頓堀川遊歩道整備や八軒家浜の船着場オープンなど様々な取り組みが実施されていました。同時に、水辺を活用したまちづくりをしたいと活動している団体が数多く生まれました。このような背景の中で、2007年に官民あがての組織である「水都大阪2009」実行委員会が生まれ、中之島を中心に、堂島川や土佐堀川、安治川、大川の一部で、河川敷を活用し店舗営業をする社会実験が実施されることになりました。

北浜でも、山根さんたちの地元と水辺を活用したいと活動していた3つのNPO団体が「北浜テラス」実行委員会を2007年に結成し、「水都大阪2009」実行委員会と共催で、プレイベントとして2008年10月、本イベントとして2009年5月～9月に、大阪川床「北浜テラス」を実施しました。

川床で食事を楽しむ社会実験は、「てる坊」「十六夜」「OUI」の3店舗で実施。メディアでも取り上げられ、連日の大盛況で、川床が北浜・中之島界隈の魅力を活性化させることを実感するとともに自信になりました。

※「てる坊」は信州に移転しましたが、その後「Bistro Bar真琴」が入店し、北浜テラスを引き継いでいます。

「北浜水辺協議会」の設立

2009年、常設の「北浜テラス」の実現に向けて「北浜水辺協議会」が設立されました。協議会では、水辺を管理する河川管理者との協議や出店のルールなど「北浜テラス」の運営管理を行っており、任意の民間団体として初めて、河川敷のエリア包括的占用主体として認定されました。

当初、3店舗でスタートした川床設置レストランは、徐々に増え、現在、13店

土佐堀川沿い

土佐堀川南岸は、各地を結ぶ船着場とともに旅館、料理屋が建ち並び、水辺は大いに賑わっていました。

明治以降、水運から陸運への移行に伴い、建物も河川に背を向け水害対策から防潮堤も高くなり、人々の生活は水辺から遠のいていきました。近年、土佐堀川南岸に大阪川床「北浜テラス」が登場新たな水辺の風物詩として脚光をあびています。

舗となっています。和食やフレンチ、イタリアンなどの美味しい料理と心地よい水辺空間は、昼夜を問わず多くのお客さんが訪れ、ほぼ年中川床を楽しむことができます。※店舗によっては1月～3月の川床営業はありません。

対岸に広がる美しいパノラマ

北浜テラスの対岸には、水都大阪プロジェクトで再整備された中之島公園や大阪市中央公会堂、大阪府立中之島図書館など美しい景観が広がっています。テラスから眺める景観は、かつて商都として栄華を誇ったまちの姿を連想させ、不思議と時間の流れもゆっくり感じます。ことに夜の帳がおりるころ、ライトアップされた中之島の近代建築とバックにそびえる高層ビル群は、近代と現代が融合した最高のパノラマとなります。

世界に誇れる水辺の景観をめざして

かつて、水陸の交通結節点だった「船場・北浜」には、船着きができる石階段の岸岐があり、人々の日常生活と密着した美しい水辺空間が広がっていました。北浜テラスでは、近い将来、景観に配慮した船着場をつくり、河川のにぎわいと船場スピリッツを取り戻したいと模索しています。さらなる夢の実現に向けて、今後も活動は続きます。

北浜テラスショップリスト

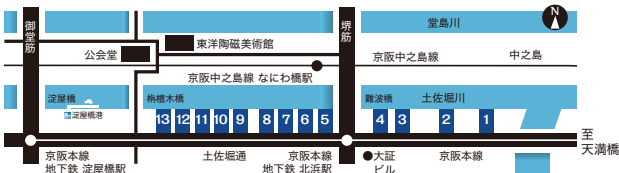
2017年9月現在

www.osakakawayuka.com

北浜テラス

検索

日本酒と季節を楽しむお店	北浜うらら	1
イタリアンフレンチのビストロ	Bistro bar 真琴	2
カフェアンドダイニング	NORTHSHORE CAFE & DINING	3
クルージング&スペインバル	北浜レンバ	4
橋のたもと	MOTO COFFEE	5
イタリアン	BUON GRANDE ARIA	6
酒処麺処	きのした	7
CHINESE CAFE RESTAURANT	農家厨房 北浜店	8
南あわじ美食農園	オリザ 中之島スピニング店	9
カフェ	Brooklyn Roasting Company Kitahama	10
喫茶&バー	MOUNT	11
カジュアルレストラン	OUI	12
カジュアルダイニングカフェ	& ISLAND	13



昔

江戸時代の大川・土佐堀川

江戸時代の大川は、淀川と大和川の水を一度に集めていたので、川幅はかなり広いものでした。そして当時は、中之島の先端は難波橋①の下流部にあり、難波橋は難波橋筋から1本で大川の対岸に架かっていました。船場の土佐堀川南岸は北の浜、すなわち北浜と呼ばれていました。



江戸時代の土佐堀川南岸：『摂州大坂図』（天保8年）

大川・土佐堀川は大阪の玄関口

大川・土佐堀川は、大阪と各地を結ぶ大動脈でした。大川南岸の八軒家浜は、淀川を経由して京都を結び、淀屋橋南詰の西側から西横堀川にかかる西国橋辺りは、金比羅参詣や明石方面への船着場として栄え、旅館などが建ち並んでいました。そして、中之島を中心に諸藩の蔵屋敷が集まり、土佐堀川周辺は人と物が集まる場所でした。

料亭旅館が並ぶ土佐堀川

船場の土佐堀川南岸は、米問屋、両替屋はじめとする大店が集まる経済の中心であり、河畔には船着場、旅館、料亭などが建ち並んでいました。その北の端が蟹島といわれた築地で、東横堀川から葎屋橋②が架かり、『摂津名所図会大成』に「金相場の東にあり続に築地という。ここに架かる橋を葎屋橋といひ、通船の便利のために防州錦帯橋のように橋杭を用いず奇観たり」と記される名所でした。



築地蟹島②『浪花百景（長谷川貞信）』

夕涼みの名所

『摂津名所図会大成』には「大川第三の大橋なり。此の橋の上より東西の眺望佳景なり、且左右を見めぐらせば十有余橋を眼前にありて浪華無双の奇観なり」、さらに「南詰を船場北浜町という。夏の夕べは浜側に納涼の茶店床を並べ川風に苦熱を忘るる客をもてなす」と記され、川辺と橋は暑い大阪に暮らす人々にとって、景色・夕涼みを楽しむ場でした。



難波橋の夕涼み
『浪花百景（歌川国貞他）』



明治の土佐堀川南岸風景③『大阪市100年』

市電が通る土佐堀川界隈

1911年（明治44）から1915年（大正4）にかけて、市電の第三期線となる北浜線④、堺筋線⑤、天神橋西筋線⑥が完成します。さらに、大阪市役所、中央公会堂、中之島公園など大阪のシンボルゾーンとして中之島整備が行われ、土佐堀川の北岸（中之島）の風景が大きく変わります。



大正時代の土佐堀川南岸『大阪実測図』（大正12年）

中之島・淀屋橋周辺の整備

昭和初期の写真を見ると、大半の市街地は瓦屋根の家並みが埋めているとはいえ、中之島には日本銀行大阪支店、大阪市役所、中之島図書館、中央公会堂、土佐堀川南岸には住友銀行、大同生命が、明治後半から昭和初期に建てられています。一方、水辺には船が浮かぶ風景があります。



昭和初期の中之島⑦（清水ゆう子氏所蔵）

難波橋の架け換えと中之島公園の一体整備

1912年（明治45）に大江橋から土佐堀川南岸に堺筋線⑥が開通しますが、この時地元の反対があり、難波橋筋から南下する予定のルートが、堺筋に変更されました。結果、難波橋も1915年（大正4）に難波橋筋から堺筋に位置を変えて架け換えられて、天神橋西筋線⑥が開通します。この時、中之島公園も東側に拡張整備されます。難波橋は公園に下りる石段、市章を組み込んだ高欄、華麗な照明灯、ライオンの彫刻など、公園と一体となった設計がなされています。



難波橋の完成⑧
『大阪市100年』
難波橋北詰からの風景、
右側に古い難波橋が見えます。

市電北浜線④と土佐堀川南岸

土佐堀川南岸も市電敷設の道路拡張により、建物敷地は土佐堀川寄りに移行し護岸整備がされ、建物の多くはビルとして建て替えられています。今に残る北浜レトロビルの姿もあります。



北浜一丁目の土佐堀川南岸⑨
『大阪市100年』



北浜一丁目土佐堀川南岸（水辺から）⑩
『大阪⑤』
北浜レトロビルの姿もあります。

淀屋橋南詰西方の整備（西国橋と大川通沿道）

淀屋橋の南詰以西は、住友銀行、大同生命ビルの建設と同じ時期に、西国橋は1928年（昭和3）に本格的な近代橋として架け換えられます。その後、淀屋橋から肥後橋にかけての川辺を利用した遊歩道が1935年（昭和10）につくられ、遊歩道と西国橋のデザインの調和を配慮した川辺の景観が生まれ、翌1936年（昭和11）に市電土佐堀川南岸線⑩が完成します。



遊歩道整備された
土佐堀川南岸（大川町）⑪
『大阪市100年』

参考文献 晩鐘成『摂津名所図会大成』（柳原書店）
『初代長谷川貞信が描いた幕末・明治の大阪』（大阪城天守閣）
『浪花百景』（大阪城天守閣） 『写真で見る大阪市100年』（大阪市）
『写真集 明治大正昭和 大阪⑤』（国書刊行会）

東の縁

今

東横堀川を活かしたまちづくりに取り組んでいる、e-よこ会（東横堀川水辺再生協議会）副会長の澁谷善雄さんと事務局の廣井真由美さんにお話を伺いました。

川に沿う緩やかな人のつながり

南北をつなぐ東横堀川沿いでは、主に3つの橋（本町橋、平野橋、高麗橋）周辺を中心に、古くから残っている建築や文化を活かしつつ、新たな人やお店などを受け入れる活動が、広がっています。2006年に発足したe-よこ会（東横堀川水辺再生協議会）は、川を活かした各スポットで行われるイベントなどを通して、住民や勤め人が心地よいゆるさの中で、人や情報がつながっていけるまちづくりに取り組んでいます。

今春には事務局が一新され、生活圏であるエリアの秩序を保ちつつ、イベントや活動を企画して更なる川の魅力発信を進めています。

わくわく、大人の好奇心を満たす「e-よこ逍遥」

e-よこ会では、毎年5月中旬から1か月間、東横堀川の水辺とまちを逍遥（そぞろ歩き）して楽しめる「e-よこ逍遥」を開催しています。「e-よこ逍遥」は、期間中、東横堀川界隈にあるまちのミュージアムやレストラン、カフェ、ショップなどを会場に様々なイベントを実施する“まちをあげた文化祭”として、2008年から始まりました。毎年、東横堀川クルーズや水門特別見学会、重要文化財・旧小西家住宅 MAP 1 での茶菓子づくり体験、老舗弦楽器専門店の丸一商店 MAP 2 でのヴァイオリンコンサートなど、東横堀川界隈の魅力を活かした、バラエティに富んだプログラムが多数。プログラムは各店舗やe-よこ会メンバーがそれぞれ自主的に企画。自分が参加してみたい、やってみたいことを、主催者自身も楽しみながら実施し、どなたでも気軽に参加できるアットホームなイベントです。

縁を守り続ける、人が集う空間

創業1724年（享保9）の老舗澁谷利兵衛商店 MAP 3 は、大阪の人、特に企業人に古くから愛される結納、祝儀用品を扱っている船場にある老舗代表の一つ。結納や祝儀用品は、時代の流れとともに需要が減少傾向にあるものの、特に企業からは、必要な時に必要なものがある確かな品そろえと信頼あるお店です。



澁谷利兵衛商店

同店9代目店主、澁谷善雄さんの人柄で、地元の人のみならず、東横堀川のイ

東横堀川

大坂城築城時に外堀として開削された東横堀川には江戸時代、大店の浜蔵が建ち並んでいました。

現在は、阪神高速道路の真下にあるため地図上では認識されにくい位置にあります。土佐堀川と道頓堀川をつなぎ、歌舞伎の船乗り込みや天神祭のどんどこ船で賑わいます。東横堀川を介した両岸の人々の交流により新しい魅力が生まれています。



本町橋



水辺のイベント風景

ベントや活動に参加した人たちが、気づくと足を運んでいる集いの場所ともなっているそうです。

また、澁谷さんはe-よこ会の活動や川辺の清掃活動など、東横堀川界隈の魅力づくりにも尽力され、お店では、水引きを使ったストラップづくりなどを教えてくれることも。手づくり体験をしながら、結納にまつわるしきたりや高麗橋、東横堀川界隈について、ガイドブックだけでは知ることの出来ない話を聞いてみるのもよいでしょう。※水引ストラップ体験については、事前要確認



澁谷善雄さん

良質で居心地よいお店が集まる東横堀川界隈

水辺を大事にする取り組みが進められてきたことで、近年、東横堀川界隈には、水辺の風景を楽しみながら食事ができるお店や、気軽に立ち寄れる素敵なお店が増えてきています。

FOLK old book store

フォークオールドブックストア MAP 1

平野町1-2-1 06-7172-5980

古本も扱う喫茶併設の本屋。平日のランチタイムはスパイスカレーで人気の「谷口カレー」が来店。地下にはついに手に取ってしまう懐かしい本やこだわりグッズが所狭しと並ぶ。

本屋・喫茶：火～金13:00～20:00
土日13:00～18:00 月休
谷口カレー：月～金11:30～売り切れまで
http://www.folkbookstore.com/



escapé LODGE and ESPRESSO.

エスカペ

瓦町1-1-6 06-4963-2718 MAP 2

昭和中期の木造建築をリノベートした川沿いのカフェ。都心のロッジをイメージした空間で心地良い音楽とともに深夜まで。お酒はもちろん、こだわりのエスプレッソと焼きたてのパニーノを。

月～土15:00～03:00 日15:00～24:00 火祝休
www.facebook.com/lodgeandespresso



age

エイジ MAP 3

平野町1-1-2 06-6223-4000

アンチエイジングをテーマに、特に酵素メニューはランチタイムに人気がある。ランチやディナーメニューだけでなく、デザートも。

11:30～15:00・18:00～20:30



ANdo

アンドゥ MAP 4

平野町1-1-1 06-6221-5290

オリジナル家具と、国内外のアンティーク雑貨を扱うノスタルジックな雰囲気のお店。

1:00～18:00 月金日休
https://ando-furniture.com



炭火焼鳥いこか

MAP 5

大手通 3-3-3 050-5592-1892

こだわりの南信州地鶏を使った 7 本のお任せコース。目の前で焼いてくれる。特にふわふわのつくねは絶品！感動もの。

18:00～ 22:30最終入店 月休



昔

江戸時代の東横堀川

東横堀川は、大坂城の築城時に外堀として開削され、武家のまちと町人のまちを隔てる川でしたが、江戸時代以降は、土佐堀川などを經由して運び込まれる物資を荷揚げする浜として、大店の浜蔵が建ち並んでいました。大坂城に通じる東横堀川にかかる橋は公儀橋が多く、高麗橋、本町橋、農人橋は今も幹線道路として役割を担っています。

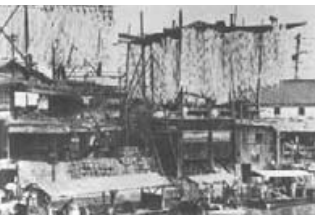
明治以降も残る江戸の風情

難波橋南詰、北浜周辺に証券取引所はじめ金融街として、近代建物が数多く建ち並ぶ大正時代になっても、東横堀川沿岸には古くからの浜蔵が残り、荷物を積んで堀川を往来する船がありました。写真は、大正時代に三越百貨店屋上から東横堀川を見たものですが、高麗橋から大手橋にかけて、浜蔵が並んでいるのがわかります。



三越百貨店屋上から望む東横堀川の浜蔵①
『大阪市の100年⑤』

舟運だけでなく、本町橋近くの曲がり付近には、川の水を利用して染物屋が、布をさらして干す風景も残されていました。



東横堀川の染物屋②
『なにわ今昔』

よしやばし 葎屋橋

東横堀川に架かる最も北の橋。旅館や料理屋が建ち並ぶ北浜の東端（築地）に架かる橋でしたが、1911年（明治44）に市電北浜線④が敷設されて、今橋をしのぐ交通量の橋になりました。



大正時代の東横堀川：
『大阪実測図』（大正12年）

奥が葎屋橋③で手前が今橋
『大阪⑤』

こうらばし 高麗橋

高麗橋は東海道ははじめとする街道の起点として名高く、西岸に置かれた2つの槽（矢倉）が名所となっていました。1870年（明治3）に、大阪ではじめて鉄橋に架け換えられます。当時は「くろがね橋」と呼ばれていました。



高麗橋矢倉屋敷④『摂津名所図会』

高麗橋と牡蠣船

1708年（宝永5）の火災時に、牡蠣船屋の五郎左衛門が高麗橋に立つ高札を守ったことから、大阪一円の橋の下での牡蠣船による牡蠣料理の営業が許可され、牡蠣船が大阪名物になったといわれています。



牡蠣船『摂津名所図会大成』

本町橋⑥

大坂城につながる公儀橋で、1724年（享保9）の妙智焼と呼ばれる大火以降、内本町に西奉行所が設けられたところです。この橋の東詰北側は船着場で、荷揚げとともに、夜になれば東横堀川には納涼船が浮かび大川へと繰り出しました。

1913年（大正2）に市電本町線⑦の敷設により、道路拡幅とともに橋が架け換えられ、現在は大阪で現存する最古の橋となっています。



昭和初期の本町橋
本町橋を南側から東横堀川を橋の下から大手橋が見える。
大阪市建設局提供

東横堀川の橋めぐり

1964年（昭和39）、阪神高速道路1号環状線が、東横堀川の上部に開通しました。東横堀川には14の橋、中でも、戦前に架設された8つの橋が残されています。

橋の形態は船の通行が多かったことが感じられるアーチ橋が多く、デザインとともに鋼材とコンクリートなど素材も多様です。船による橋めぐりは、独自の景観と雰囲気を楽しむことができます。

2015年には本町橋東詰北側に船着場（本町船着場）が誕生（復活）しました。



船による橋めぐり

本町橋船着場

浜蔵と岸岐

大阪の川岸は、岸岐といって、斜めに開いた石段状になっており、川への昇降とともに増水に対しても対応できるようになっていました。川岸に建つ倉庫（浜蔵）は足駄作（あしだづくり）で、下が囲われておらず、倉庫の荷を水から守り、川水をさえぎらないようになっていました。川に沿って犬走りが続いており、荷下しや作業場でもあり、人々にとっては釣りや涼みの憩いの場としても利用されていました。また「近世風俗志」に大坂浜蔵の図があり、「京阪の俗は、川岸をも浜と云うなり。故に河岸土蔵をはまぐらと云ふ。大坂諸川陸よりははなはだ低し。故に図のごとく土蔵下を石柱を建て、土土台をおきて、その上に土蔵を建つなり」と記されています。※岸岐は雁木と書くこともあります。



大坂浜蔵の図「近世風俗志（喜多川守貞）」

西の縁

今

南船場4丁目から、
まちが変わり始めた

1990年代には、アメリカ村や心齋橋の店が長堀通を北に渡って南船場の縁に進出。さらに東京資本による出店が続き、南船場エリアの中でも特に4丁目は若者が集まるまちなりました。そして、ブームが去り20数年を経た今、再び南船場4丁目界限に視線が注がれています。

一時の熱気は冷めましたが、往年のビルやいくつかの店舗は今なお健在です。2015年にオープンした新業態のカフェも人気を呼ぶなど界限には再び若者が戻りつつあるようです。

サタデーズニューヨークシティ大阪店
MAP 4

南船場4丁目に活気を呼び寄せた一人として当時マスコミからも注目されていた「赤い男」として知られるアーティストの浜崎健さんにお話を伺いました。

赤いビルから始まったムーブメントは、今も健在？

南船場4丁目に一際目を引く赤いビルがあります。浜崎健さんがアーティストとしての拠点を現在の場所に構えたのが1994年。その後、ビルのプロデュースや地域のお祭りなども企画。まちのブームが去った後も、「X軸プロジェクト」というアート展を主催。ショップや美容院にアート作品を置き、まちを回遊しながらアートを楽しんでもらおうと、2010年から3回開催していました。

海外経験を通してみた南船場のこれから

現在は海外でのアート活動が多い浜崎さんは、日本のまちなかに美術館や公園が少ないことが気になるとか。そんな想いもあって前述のX軸プロジェクトを企画したといいます。「しかし、近年は経営者も商売やまちづくりの際にアートが無視できないという意識に変わってきているようです」。南船場は「オンリーワンのものを発信できる人がいて、世界の人々が『来てみたい』と感じるまちになればいいですね」との熱い想いがあるようです。

浜崎健さん
ギャラリー「浜崎健立現代美術館」前にて
MAP 5

横堀筋・道修町に新たなコミュニティ拠点誕生

小さなお庭と猫の図書館

小さなビルや地域の会館、昭和の建築物をそのまま活かした飲食店などが点在する横堀筋。その船場の縁にまた一つ新しい「場所」が誕生しました。それが、「小さなお庭と猫の図書館」です。ビルの4階・5階に、猫関連の図書館、自習スペース、茶室、庭のあるシェアスペースとして2014年にオープン。猫の関連図書(写真集、小説、漫画など)は700冊以上。本物の猫も「司書猫」として勤務しています。さらに、お茶会や落語会、猫に関連したものづくりワークショップなど、イベントも多彩です。代表の廣瀬眞理子さんはビルも所有。「人と人の繋がりが実感できる場所を創りたいという想いがありました。場所があれば人が集まり、人が集まれば何かが始まります」。近代建築が多く残る淀屋橋界限で拠点を探していたそうです。全国的に展開中の「まちなかライブラリー」と「中央区まちじゅう図書館」にも参加しています。 <http://nekotosho.jp>



猫の図書が並ぶ本棚

旧西横堀川沿い

西横堀川は、かつて東岸には材木商が集まり

一方の西岸は瀬戸物商で賑わったそうです。

もはやかつての船場の縁の面影はありません。

材木店はリノベーションされカフェやアパレルショップなど個性的な店舗やビルへと変わり

なかでも南船場4丁目界限は、お洒落な若者たちが内外から集まる人気スポットとなりました。

船場のへりで見つけた個性的な図書館
—中央区まちじゅう図書館

近年、小規模な図書館やオーナーさんこだわりの本を置いたショップなどをゆるやかに結びつける「まちなかライブラリー」が全国的に広がっています。中央区でも「中央区まちじゅう図書館」と名付け、「本をとおしての出会い」を推進しています。なぜか船場の北(土佐堀)、西(旧西横堀)、南(旧長堀)のへりには「中央区まちじゅう図書館」が7か所あります。

小さなお庭と猫の図書館

道修町4-7-11 D▶HB 4・5階 06-6210-1967

シュール・ムジュール・デサキ

北浜1-1-18 忠次郎ビル3F 06-6231-6710

北浜KITALICITE

北浜1-1-12 Y'sピア北浜5F 090-5124-6807

C Flat まちライブラリー

南船場3-10-28-201 06-6241-0246

Go Color まちライブラリー

南船場2-6-2 BSビルディング603 06-6265-3630(不定期)

文学パー リズール

南船場4-11-9 06-6282-7260

colombo cornershop

南久宝寺町4-3-9 丸盛ビル1F 06-6241-0903

西横堀川西岸との繋がりは今も続く

中央大通の南側にある坐摩神社の境内にある火防陶器神社では、毎年7月に「せともの祭」(陶器祭)が行われます。

坐摩神社 と火防陶器神社

「陶器祭」は江戸時代、陶器神社の前身である火除け地蔵(現在の西区)に集まる人々に感謝を込めて「蔵ざらえ」を行ったのが始まりです。また、坐摩神社は上方落語寄席の発祥の地としても知られています。10月には瀬戸物に関係する壺を含む落語会「上方落語地図1」が行われます。 ※P16イベントカレンダー参照

瀬戸物の生き字引「つば善」

西横堀の西岸にある老舗の陶器店「つば善」。創業は1867年(慶応3)です。店主の御崎さんは「昭和初期には約150軒の瀬戸物商で賑わった」と語り、家業に関する資料を大切に保存するだけでなく情報発信を行っています。坐摩神社で行われる上記落語会でも、御崎さんは瀬戸物のエピソードを披露されるとのことです。

西横堀川の名残

西横堀川は、1964年(昭和39)に阪神高速道路1号環状線が上部を通り、1971年(昭和46)に埋め立てられました。かつての橋の碑(筋違橋親柱MAP 9、信濃橋親柱MAP 10、新町橋橋碑MAP 11)が現地に残されており、四ツ橋でも、四ツ橋交差点の東側中央分離帯に橋の欄干、顕彰碑MAP 12が設置され、高速道路を挟む東側に小西来山と上島鬼貫の句碑MAP 13が残っています。



筋違橋の碑 MAP 9



信濃橋の碑 MAP 10



四ツ橋跡 MAP 12

昔

西横堀川の開削

西横堀川は、1600年(慶長5)材木商永瀬七郎右衛門によって開削されたと伝えられますが、江戸時代になって、土佐堀川、長堀川を結ぶ西横堀川の舟運を活かした特徴あるまちが両岸に形成されました。

東岸は材木商の集まるまち

『摂津名所図会』に「浪花市中において材木の商家此所彼処に有りと雖も斯くばかり軒を連ねるはなし・・・あらゆる諸木を集め見も馴れざる唐木まで蓄え持ちて・・・もとむるに应ぜざるということなし故に浪花中は云うも更なり遠近の国々より注文あり頗る賑わし」と記されているように、諸国からあらゆる銘木を集め、これを求めて全国から人が集まる材木のまちであったようです。大正時代になって立売堀で行われていた材木市場が廃止されて、境川運河市場や千島町市場が発展するにつれ、材木問屋も西の方に移動することになりましたが、西横堀川東岸には約80軒の材木商が戦後まで続いていました。

東岸に材木商が並ぶ江達橋①
「埋もれた西区の川と橋」

西岸は陶器商の集まるまち

『摂津名所図会』には「瀬戸物町南北十町許の間陶器の店軒を列ぬ」とあり、瀬戸物町と呼ばれ賑わい、延宝年間(1673〜81)から瀬戸物町の地蔵会として陶器祭が行われていました。1873年(明治6)に「火防陶器神社」を創建しましたが、1907年(明治40)に市電南北線の敷設により、坐摩神社の境内に移転し、その後、西横堀川西岸の陶器商による陶器まつりは坐摩神社で行われることとなりました。当時は坐摩神社裏の鳥居前に架けられた新渡辺橋の上まで屋台が出て賑わったといわれています。

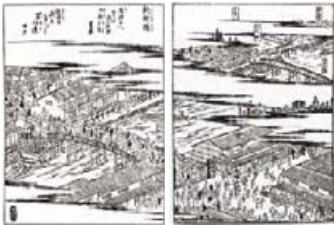
火防陶器神社への参道
新渡辺橋②「埋もれた西区の川と橋」

瀬戸物町【大阪市の100年⑥】

大正時代の西横堀川:
『大阪実測図』(大正12年)

新町橋

西横堀川に架かる新町橋③は、江戸時代に順慶町から西岸の新町遊郭への入口として架けられたとされています。『摂津名所図会大成』には「西横堀の北より第十二目の橋なり、東は順慶町、西は傾城の廓瓢箪町の入口となれば、瓢箪橋ともいう。四時、橋上には市店ありて、頗る賑わし。廓開発の初めは、入口は西一方なりしが寛文十二年、廓への通路よろしきために廓よりかけたる橋なり。往古は土橋にて有りしとぞ」と記されています。



新町橋③『摂津名所図会』

四ツ橋

西横堀川と長堀川との交差点に架かる4つの橋④は、物資を運ぶ船、遊興の屋形船などの往来が多く、これを眺め、夕涼みを楽しむ名所として有名でした。しかし、1908年(明治41)に市電南北線⑤と長堀川北岸に市電東西線⑥が敷設されると、市電が行き交う風景はダイクロクロスと呼ばれる新名所となり、四ツ橋といえは地上の交差点⑤を指すようになりました。



四ツ橋④『摂津名所図会』

市電の交差する四ツ橋⑤
『大阪市営交通90年の歩み』

水害と河川改修

大阪は、河川・舟運により商都として繁栄しますが、一方では、水害との戦いの歴史があります。淀川、大和川の水を集める大川は、たびたび大水害を引き起こし、その度に大規模な土木工事を古来行ってきました。『日本書紀』にも記される「難波の堀江」に始まり、江戸時代の安治川の開削、大和川の付け替えなどが行われてきました。

1885年(明治18)の大水害

1885年(明治18)7月、淀川が枚方付近で決壊し、淀川左岸及び大阪市内に未曾有の被害を及ぼし、大川、堂島川、土佐堀川に架かるほとんどの橋が流失してしまいました。中之島との交通が途絶えたことから、難波橋は一時、船橋が設置されました。これを契機に淀川を分岐し、まっすぐ海に放流する淀川大改修(新淀川)の建設と、大川への水量調整をする毛馬の水門が1909年(明治42)に設置されました。



船橋の難波橋【大阪市100年】

肥後橋⑥は船場の西に架け換え

肥後橋は江戸時代には、肥後殿橋ともいわれ中之島に肥後藩蔵屋敷があったことからその名があり、船場(現在の三井住友銀行大阪本店の前)に架けられていましたが、1885年(明治18)の大水害で流失後、1888年(明治21)に渡辺橋の南に鉄橋に架け換えられました。

戦後の開発で
長堀川から長堀通へ

昭和30年代後半から、船場をはじめ西船場の多くの堀川が次々と埋め立てられました。長堀川には大阪名所の一つ、四ツ橋や心斎橋、三休橋など多くの橋が架かり、船場と島之内、難波を行き来する玄関口でした。堀川から通りへと変わった長堀では、開発前の一時期(1982～1992年)、長堀カーニバルが行われていました。

大規模再開発でさらに進化

1996年、地下鉄長堀鶴見緑地線が大正駅まで延伸。続いて1997年5月には地下街「クリスタ長堀」がオープン。さらに翌年、長堀通の景観整備が完成すると大阪市の「シンボルロード」に指定されました。こうして、かつて舟運で賑わいを見せた堀川は、日本最大にして24時間営業の地下駐車場と地下ショッピング街、さらには地下鉄4線が交差する、新たな役割を担う通りへと変貌を遂げました。



長堀通の排気筒・四ツ橋から東を望む

ストーリー性のある
地下鉄駅のデザイン

長堀鶴見緑地線の各駅は、地域のイメージや歴史にちなんだデザイン性溢れる設計が施されています。長堀橋駅の壁面は、運河で栄えた頃の長堀川のイメージ。心斎橋駅は、長堀に架かっていた「心斎橋とそこから見た夕日」をモチーフにデザインされています。



心斎橋駅構内のデザイン

クリスタ長堀—アート溢れる地下空間

クリスタ長堀は長堀通の堺筋から四ツ橋筋まで約730メートルに及ぶ地下のファッションストリート。地下街の全延長の1/3は、自然光の入るウエーブ状のトブライトが設置され、明るく開放感のある空間が広がります。かつての縁は、常設のギャラリーに加え、あちこちにアートポイントが点在するまちに変貌し、訪れる人々の目を楽しませてくれます。地下街の西端には、アメリカを代表するニューペインティングの旗手、デビッド・サラー作の巨大壁画「クリスタル・リバー」(約5m×20m)。地下街四ツ橋線側の「南17」階段を上ると、アメリカンポップアートの画家ロイ・リキテンスタインによる巨大壁画「ウィッキー」が目を引きま。実はこれもクリスタ長堀のアート展示の一部です。



MAP 14 クリスタ長堀の西端の壁に設置されている巨大壁画

阪神高速東側にある
アメリカンポップアート壁画

MAP 15

旧長堀川沿い

戦後高度成長期の自動車交通の増加、河川の水質汚濁などから長堀川は1964年(昭和39)に埋め立てられ、地下駐車場、地下鉄、地下ファッションストリートが整備されて、南の縁は大きく変わりました。

江戸時代から、舟運を利用し諸国から材木や石材が運ばれ
また精錬加工などの工業生産も盛んな地域でした。

長堀通からスタートして、現在では南船場、心斎橋エリアまで周辺地域と連携してまちの活性化に取り組むNPO法人御堂筋・長堀21世紀の会理事 成松孝さんにお話を伺いました。

企業町会による地域の活性化活動

1982年、長堀通を通る地下鉄誘致活動を基本に地域活性化を目指し、界隈の企業や店主が集まり「長堀21世紀計画の会(当時の名称)」が誕生。「企業町会というスタイルの集まりは当時は無かったと思います」と成松さん。地域の活性化を目的に、まずは長堀通のまちづくり構想から活動開始、行政への提言等を重ね、地下街や地上の景観整備が完成しました。



成松孝 理事長

長堀通の魅力が人やショップを引き寄せる

1996年、長堀通と御堂筋の角にシャネルが outlets 話題に。その後もルイ・ヴィトンやエルメスなど世界のトップブランドの進出が続き、世界的ブランドの一大集積地の先駆けとなった長堀界隈。「現在も約60のブランドショップが店を構えていて、アジアのリッチな観光客からも好評のようです。また、海外からの観光客がこの数年特に増加し、北心斎橋筋商店街を本町通あたりまで北上しているようです」

長堀通・心斎橋筋との交差点
信号待ちの人たちにも
多くの海外観光客が見える御堂筋完成80周年を機に
長堀と御堂筋の交差点に
記念モニュメントを

2017年は御堂筋完成80周年。それを機に会として様々な提案を行っています。その一つが御堂筋と長堀通の交差点(新橋交差点)の整備。「まずは、御堂筋完成80周年を記念して新橋交差点にシンボルモニュメントの設置を提案しています」とのこと。地元の企業からは観光客向けのトイレとインフォメーションの設置を望む声も寄せられているそうです。長堀通から始まった地域の活性化活動は、大阪を世界に向けて発信する活動へと拡がりつつあります。



新橋交差点に提案中のモニュメント(イメージ)

長堀川の名残

心斎橋 MAP 16

長堀川に架かる橋は、戦後の埋め立て完了と共に姿を消しました。そのうち心斎橋は歩道橋として設置されていましたが、地下鉄長堀鶴見緑地線延伸工事に伴う地上整備が行われ一旦撤去され、その後、現在では石橋の一部がガス灯とともに長堀通に残されています。

中橋 MAP 17

長堀通の緑地帯の中に、橋名を刻んだ顕彰碑が残されています。

長堀橋 MAP 18

長堀橋は、長堀川が開削されて最初にかけられた橋で、公儀橋の一つでした。堺筋と長堀通の北東角の植え込みの中に記念碑が建てられています。

ガス灯と石橋が、長堀通の
横断歩道沿いに設置

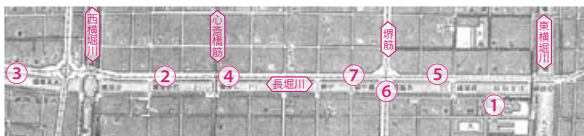
中橋顕彰碑



長堀橋の記念碑

江戸時代の長堀川沿岸は職人のまち

1622年(元和8)に開削された長堀川は、現代の産業道路に相当するような河川でした。舟運により材木、石材、銅などが運び込まれ、工業生産が盛んで、職人が集まるまちで、その名残が鍛冶屋町、炭屋町などの町名などに残されていました。



大正時代の長堀川【大阪実測図】(大正12年)

職人の町

長堀橋から東横堀の南岸は、住友の濱①と呼ばれ、1636年(寛永13)に泉屋(住友)吉左衛門が南蛮吹ききの技術によって銅精錬所を開設して以来、銅吹きが盛んで、金物の職人のまちでした。長堀川に架かる佐野屋橋南詰の東側は、石屋の濱②と呼ばれ「摂津名所図会」には「長堀の石濱は山海の名石あるは、御影石、立山、和泉石など諸国の名産を集め、その好みに従うて石の鳥居、石の狛犬、灯籠、水鉢…までこしらえ、商うなり」とあり、石問屋や石工が集住していたことがわかります。また、長堀川の西側(川下)は、長堀材木濱③と呼ばれ、諸国から材木が集まり材木市が開かれる浜でした。



長堀川と住友本邸「なにわ今昔」



長堀石濱【摂津名所図会】



長堀材木濱【摂津名所図会】

心斎橋 ④

新町の遊郭が賑わい、道頓堀の芝居が隆盛になるにつれ、双方を結ぶ心斎橋も大いに賑わいました。心斎橋筋も明治以降は近代的商店街として、商店街のまち歩きは「心プラ」といわれる人気をみせていました。心斎橋は、1873年(明治6)に大阪で初めての無脚弓状トラス橋として架け換えられます。当初は、人々は太鼓橋が架かると思ったようで、大阪名所にもなりました。この心斎橋南詰から北を望むと、まちは瓦屋根の家並みが続き、遠くに南御堂、北御堂の大屋根が見えます。この心斎橋は市電東西線⑤の敷設に伴い撤去されますが、大阪各地で再利用され、現在は鶴見緑地の公園橋になっています。



心斎橋の弓状トラス橋④(清水ゆう子氏所蔵)

長堀川北岸に市電東西線

1908年(明治41)に市電東西線⑥が長堀川の北岸に敷設され、心斎橋も1909年(明治42)に石造アーチ橋に架け換えられ、この橋の水面に映る姿は眼鏡橋として親しまれました。

紀州街道にあたる長堀橋⑥は、市電堺筋線が開通した1912年(明治45)に架け換えられ、藤中橋⑦は、橋筋で病院を営んでいた藤中隆という人の私費によって、1908年(明治41)に架橋されました。

写真は昭和30年代の長堀川です。手前から御堂筋に架かる新橋、心斎橋、三休橋、中橋、藤中橋、長堀橋、板屋橋、安綿橋を見ることができます。中央の大きなビルがかつての長堀高島屋です。



昭和30年代の長堀川【大阪市の100年⑥】

長堀川は埋め立てられて駐車場に

川辺に面した営みの風景は徐々に変化していきます。

戦後は、舟運から陸上輸送への変化による河川利用の衰退、さらに水質汚濁などによる堀川の埋め立て、自動車の増加による交通問題から市電の廃止が進められていきます。そして、市電東西線は1961年(昭和36)に廃止され、長堀川は都心駐車場の整備のため1964年(昭和39)に埋め立てられ地下駐車場が建設されました。さらに、1997年に地下鉄鶴見緑地線が全通し、地下街クリスタ長堀が開業しています。

公儀橋と町橋

大阪は、八百八橋といわれるように橋の多いまちでした。しかし、幕府が架橋した公儀橋は12橋のみで、その他は町橋といわれ、町人によって架けられたものでした。そして、その架け換え、修繕、維持管理も町人によって行われていました。船場に架けられた橋も、公儀橋が難波橋、高麗橋、本町橋、農人橋、長堀橋の5橋ありましたが、そのほかはすべて町人により架けられたものでした。

町橋の架け換え修繕は橋近傍の町で負担

町橋の架け換え等管理にあたっては、一般的には橋本町という橋詰のまちが責任を持ちました。架け換えや修繕の場合は橋本町がかなりの比率で費用を持ち、残りをその近傍の橋掛り町と呼ばれた町々で負担をしました。そして、負担額は橋から遠くなるほど少なくなるように配慮されていました。心斎橋では、橋本町(橋詰の心斎町と長堀十丁目)が半分を負担し、残りを本町から菊屋町(現在の心斎橋筋2丁目)までの橋掛り町が橋に近い町から順番に10%ずつ等比級数的に遞減しながら割り当てられることになっていました。公儀橋に関しても、原則として幕府の経費で架け換え、修繕が行われましたが、日常の点検管理は、町橋の架け換えと同様、橋本町、橋掛り町で行なっていたとされています。〔「大阪の橋」〕

くいだおれ

大阪は「くいだおれ」といわれます。これは食道楽の「食い倒れ」という意味とともに、水害で橋の杭が流され(倒れ)、橋の架け換え、修繕に費用が嵩み、築いた身代が倒れるという意味もあります。



1...18

P2~P8 船場の緑の今

1...5

P5 東の緑「へり」のお店

1...7

P7 中央区まちじゅう図書館

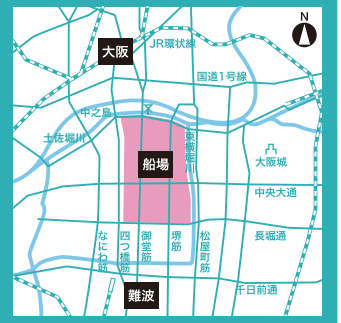
1...9

P13~P14
北船場の魅力カフェ

! P15 船場まちの案内板



船場の位置



船場の近代建築

- 1 三井住友銀行大阪本店ビル
- 2 石原ビルディング
- 3 三共商事
- 4 吉田理容所
- 5 北浜レトロビルディング
- 6 大阪倶楽部
- 7 日本生命保険相互会社 本館
- 8 大阪市立愛珠幼稚園
- 9 適塾
- 10 中村健法律事務所
- 11 新井ビル
- 12 岡三証券
- 13 アンティカ・オステリア・ダル・ボンビエーレ
(旧中央消防署今橋出張所)
- 14 高麗橋野村ビルディング
- 15 三井住友銀行大阪中央支店
- 16 オペラ・ドメーヌ高麗橋
(旧大阪教育生命保険ビル)
- 17 日本基督教団浪花教会
- 18 銭高組分室(旧小西平兵衛邸)
- 19 芝川ビル
- 20 伏見ビル
- 21 青山ビル
- 22 少彦名神社
- 23 コニシ株式会社(旧小西儀助商店)
- 24 大阪ガスビル
- 25 北野家住宅
- 26 武田道修町ビル
- 27 小川香料
- 28 生駒ビルヂング
- 29 三栄源エフエフアイ
- 30 清水猛商店
- 31 船場ビルディング
- 32 興和淡心ビル(旧板谷歯科医院)
- 33 岸本瓦町邸
- 34 綿業会館
- 35 ハウザー堺筋本町駅前ビル
(旧東海銀行船場支店)
- 36 早稲田屋ビル
- 37 明治屋ビル
- 38 三木楽器開成館
- 39 クツワ文具店
- 40 堺筋倶楽部
(旧川崎貯蓄銀行大阪支店)
- 41 大阪農林会館
- 42 原田産業

私たちがみつけた北船場の魅力カフェ

フィールドワークで北船場をまち歩き
気に入ったお店をご紹介します。

学生の視点で見た船場の魅力

大阪市の魅力創出事業の委員になったことがきっかけで、2014年から船場地区で2年生のゼミ学生たちとフィールドワークや船場フォーラムなどのイベントのボランティアを行っています。2016年度の2年生ゼミのテーマは、「学生から見た船場の魅力のPRを考える」で、約9か月間船場のまちを何度も訪れ調査を行ってきました。その成果を2017年3月に地域の皆さんに発表したところ、今回の『船場人』への掲載が叶いました。地域の発展の一翼を担えたなら幸いです。

清水苗穂子

阪南大学国際観光学部 教授



R39bar

MAP 1
アールサンキューバー
淡路町2-5-11 06-6205-3984

世界で9%しか流通していない
コーヒー豆が味わえる。

11:30～23:00 日休
http://ccomomoo.exblog.jp/



FRENCH BAGUTTE CAFÉ

MAP 2
フレンチ バグット カフェ
淡路町3-5-13 050-5593-2954

御堂筋の大通りに面している素敵なお店。

平日8:00～23:00 土日祝10:00～21:00
http://www.frenchbaguettescafe.jp/



Morning Glass Coffee+Café

MAP 3
モーニング グラス コーヒー プラスカフェ
安土町3-2-14 06-6484-7002

ハワイに本店があり、日本での初店舗。
モーニングにおすすめ。

月～土 7:30～20:00 日祝 8:00～15:00
http://morningglasscoffee.jp/



Keitto Ruokala

MAP 4
ケイト ルオカラ
平野町3-3-5 050-5594-0393

「子育てママに豊かな暮らしを提案」が
コンセプトのかわいいカフェ。

平日7:30～15:00, 17:00～23:00
土曜 10:00～17:00 日祝休
http://northobject.com/keitto-ruokala/



ELMERS GREEN コーヒーカウンター

MAP 5
コホロ エルマーズ グリーン コーヒーカウンター
今橋3-2-2 06-6223-5560

ホームメイドのパンやコーヒーが
楽しめるとても落ち着いた空間。

11:00～19:00 不定休
https://elmersgreen.com/



ハワイアンレストラン Moani Diner

MAP 6
モアニ ダイナー
平野町2-6-4 06-6228-3855

満足感No.1のハンバーガー屋さん。
月に1回ライブも開催。

平日 11:00～23:00 土曜 11:30～18:00 日休
http://www.moanidiner.com/



何度も船場に足を運びました

船場の研究課題が出たとき、船場げんきの会の方から「もっと若者にも船場を訪れてほしい」とお聞きしました。そして歴史や近代建築を調べ、まち歩きやボランティアをするうちに、私たちが大好きなカフェがたくさんあることに気が付きました。

実際にそのお店に訪れ、店員さんとお話を伺い、よりその魅力が分かりました。お店の方々は優しい方ばかりで、様々なお話を聞かせていただきました。その中でも、私たちが特に印象に残ったり、InstagramなどのSNSに投稿し反響があったお店を写真と一緒にをご紹介します。

紹介しきれなかったお店も地図に場所と名前を記載しましたので、是非、行ってみたい!! 船場の研究をして、地域の方々とふれあい、みなさんの船場への思いの強さが伝わり素晴らしい地域だと感じました。

久保田知紗

船場には想像以上にかわいいカフェがたくさんありました。中でもお気に入りのはOLD ROSE GARDENです。アフタヌーンティーセットが本当にかわいて、フォトジェニックな写真が撮れます。もちろん、味も美味しいのでぜひ行ってみたい。

溝渕友珠夏

船場に訪れた方に分かりやすいと思ってもらえるマップを作成したいという思いからこのマップが出来上がりました。学生同士で美味しくておしゃれなカフェを共有し合ったので、私自身も新しい発見がありとてもいい経験になりました。

北内里奈

船場を研究してみて、たくさんの人との協力が顕著に表れている地域だと感じました。何度も船場に足を運び、季節の行事やイベントに参加したり見たり、げんきの会の方にお話を聞いたりしました。お洒落な雰囲気がある船場は歩いているだけで楽しくて今度友達と一緒に訪れたいとも思いました。今後もぜひ、船場の魅力を伝えていきたいです。

安藤沙也花



阪南大学国際観光学部清水ゼミ

久保田知紗 溝渕友珠夏 安藤沙也花 芥川祐貴 浅利さくら 伊藤大樹 北内里奈
世良明日香 沼本舞果 文元小波 松枝湧也 米木愛未 吉田桃子 和田知樹

善菜酒場 Bonta

MAP 7
ボンタ
瓦町2-6-14 050-5890-2423

ランチタイムには限定メニューがあり、
豊富なワインはディナーに最適!

平日 11:30～14:00 17:30～22:00 土日祝休



フィールドワークで制作したSemba Cafe Map

※詳しい位置はP11・P12のマップをご覧ください。

Three Chimneys Co

MAP 8
スリー チムニーズ
備後町3-1-11 06-6208-0177

イギリスの田舎にある一軒家をイメージした店内。

平日 11:00～22:00
土曜 12:00～22:00 日祝 12:00～18:00
http://3-chimneys.com/



OLD ROSE GARDEN

MAP 9
オールド ローズ ガーデン
今橋4-3-18 06-6204-1318

同系列ROYAL HATと
オフィシャルカフェが隣接しており、
アフタヌーンティーセットでお嬢様気分♪

平日 11:00～20:30 土曜 11:00～18:00 日祝休
http://www.oldrosegarden.com/





春夏秋冬折々の旬の味わいを、より深く、より美しく、研ぎ澄まされた感性と器に盛って、心からおくつろぎ頂けるようおもてないたします。

日本料理 吉北

電話 06-6231-1937
住所 中央区高麗橋2-6-7

創業天保十二年

吉野煮

船場 淡路町

創業は天保十二年(1841)旅館屋をしていた吉野屋嘉助が、すし屋を始めたのが始まりで、以来百七十余年にわたり大阪寿司の伝統を守り続けております。

営業時間 9時～21時 土・日曜・祝休
電話 06-6231-7181
住所 中央区淡路町3-4-14





健美宴

けんぴえん・せんぎやうはし・

大山鶏の水炊き・焼鳥。
ご宴会には、コース料理や2階個室をどうぞ。

営業時間 昼 11時半～14時LO 夜 17時～23時LO 祝日休
電話 06-6282-7547
住所 中央区淡路町3-1-1



Bar d'Arome

バー・ダローム

細い通道の奥にある小さなBar
カクテルとワインを中心に洋酒全般を取り揃えております。

営業時間 平日16時～翌1時
定休日 水曜
電話 06-4706-0101
住所 中央区北浜3-3-14





ST. REGIS OSAKA

Live Exquisite

極上のひとときを。

セントレジス ホテル 大阪
大阪市中央区本町3丁目6番12号
www.stregisosaka.co.jp



御堂筋は、本年完成80周年を迎えました。



南館竣工当時 1933年(昭和8年)



御堂筋清掃活動 1940年代～



ガスビルコンサート 1980年代～



ガスビル食堂 1933年～



御堂筋ふれあいバザー 1990年代～



御堂筋イルミネーション 2009年～



北館竣工 1966年(昭和41年)

大阪ガスは、これからも船場・御堂筋のまちづくりに貢献してまいります。



彩食館 門

昔ながらのカフェ居酒屋、チキン南蛮と夜限定の石焼きカレーは絶品です。2階は船場言葉のパネル展示をしており、各種会合等も承っております。

営業時間 10時～15時/17時～23時半
土日祝休
電話 06-6231-8509
住所 中央区道修町3-3-12



創業1888年

池田商店紳士服部 本町店

創業129周年を迎えた老舗の技術を 生かし、最新のスタイルのスーツをお求めやすい価格でご提供しております。

特別価格 国産生地使用仕上り 5万円～
舶来生地使用仕上り 7万円～

営業時間 月～金 10時～18時 土 10時～15時
日祝日・第2、第3土曜休 電話 06-6252-7758
住所 中央区久太郎町4-1-3
大阪センタービルB1 (旧伊藤忠ビルB1)



(株)シモジマ心斎橋店

包装資材や店舗用品、事務用品を卸価格で販売しております。さらに2%引きになるカードを無料で受け付け中!!

営業時間 平日 9時半～19時半
日祝 10時～18時20分
定休日 不定休
電話 06-6252-4361
住所 中央区北久宝寺町3-3-8



三木楽器株式会社

KAISEIKAN 開成館

1825年の創業以来、日本の音楽産業・音楽文化の発展を支えて参りました。
アコースティックピアノ楽譜を取り揃え、ミュージック・エクセレント・カンパニーの道を歩み続けます。

営業時間 10時～19時
毎週水曜日休
電話 06-6252-1820
住所 北久宝寺町3-3-4
国登録有形文化財



デザイン、アイデア、住まい方。

個性的な“家”の提案が、ここにあります。



大阪ガス住設の家

ogj.co.jp/house/

大阪ガス住宅設備株式会社
豊中モデルハウス

営業時間 10時～17時 定休日/火曜・水曜
電話 06-4865-9730
住所 豊中市北緑丘1丁目1-10



目の前の
あなたのために。
世界の
みんなのために。

THE KAITEKI COMPANY

三興クミカルホールディングスグループ

一人を愛する気持ちで、世界も愛したい。
そして田辺三菱製薬は、国際創業企業へ。



田辺三菱製薬
<http://www.mt-pharma.co.jp>



伊藤園

自然が好きです。

株式会社伊藤園 大阪中央支店
大阪市港区波除1-4-43 06-6585-6850



三倉栄奈 三倉佳奈

大阪の街で、90年。

これからも、皆さまとともに。



感謝・絆・挑戦

信頼で地域とつながる 大阪シティ信用金庫

本店/〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4 TEL. (06) 6201-2881 (代表)
<http://www.osaka-city-shinkin.co.jp/>

大阪府内に90店舗。大阪市内全24区に店舗を有する唯一の地域金融機関です。
平成29年9月1日現在

船場げんきの会とは

船場げんきの会

船場をこよなく愛するグループ(商店会、まちづくり団体、異業種交流会、NPO、研究会など)の集まりで、柔らかな連携を通して、より魅力ある船場のまちづくりを目指しています。
2014年に作成した「船場まちづくり宣言」の目標は、「賑わい生活都心」です。

設立: 2004年9月3日

会員: 25グループ (2017年9月時点)

大阪船場井池筋連盟/大阪船場ロータリークラブ/環境デザインE.M.I.プロジェクト/関西ミュージックリンク協会/北船場くらぶ/協同組合大阪久宝寺町卸連盟/心斎橋筋北商店街振興組合/三休橋筋愛好会/三休橋筋発展会/船場クリエイティブ・ポート推進協議会/船場経済倶楽部/船場研究体/船場三水会/せんば心斎橋筋協同組合/船場センタービル連盟/せんば鎮守の杜芸術祭プロジェクト/船場賑わいの会/太閤路地プロジェクト/東横堀川水辺再生協議会/御堂筋まちづくりネットワーク/南船場グローバル倶楽部/MORISEN/淀屋研究会/老舗学研究会/寄合びんご(順不同)

船場げんきの会 事務局

中央区船場中央2-1-4-411 Tel. 06-6263-6583
www.semba-genki.net



船場フォーラム

船場について語り合う場として2005年から毎年3月に開催しています。

船場まつり

船場の商店街、神社・寺院、連合振興町会を中心に、2009年から毎年10月に開催しています。

船場アーカイブス

船場の写真・地図など募集中

写真や地図などの、船場に残る「昔の記憶」と「今の記憶」を収集・保存、公開しています。

船場まち歩き隊

「私のオススメ」を歩いて紹介する、語り合えるような「まち歩き」を企画・実施しています。

船場ガイドブック

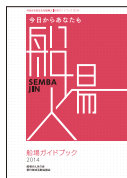
2012年から毎年秋に発行し、イベント会場や船場の飲食店などで配布しています。



2012年 第1号
テーマ
「船場アミュージアム」



2013年 第2号
テーマ
「船場今昔」



2014年 第3号
テーマ
「船場のここ10年」



2015年 第4号
テーマ
「船場に息づく芸能・文学」



2016年 第5号
テーマ
「船場の会館」



船場アーカイブス



船場まち歩きの様子

船場倶楽部とは

船場倶楽部

船場地区内の連合振興町会や企業、まちづくり活動団体などが連携協力して、地区全体の景観や魅力向上、賑わいづくりに貢献しようと活動しています。

設立: 2016年9月

会員: 連合振興町会・まちづくり活動団体、法人・個人など43名

事務所: 中央区北浜1-2-4

info@sembaclub.com www.sembaclub.com

まちな案内板設置活動

大阪市や民間企業と協力して、歩道や公開空地、ビルの壁面などに「まちな案内板」を設置する活動を進めています。(詳細はP15参照)
あわせてインターネットによる情報発信「船場ナビ」も整備中です。



案内板除幕式の様子

今日からあなたも船場人 船場ガイドブック 2017



制作:
船場げんきの会 愛日地域活動協議会

協力:
船場倶楽部

編集会議:
青木由美子
川嶋みほ子
河村岳志
谷口康彦
千葉桂司
塚村真美
中村孝子
日比哲夫
三谷直子
米田佳代

デザイン:
河村岳志 tateshikawamura.com

「船場の縁」取材に協力いただいた方:
滋谷善雄(株式会社滋谷利兵衛商店)
杉本容子(東横堀川水辺再生協議会)
出崎栄三(北浜水辺協議会)
成松 孝(NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会)
浜崎 健(有限会社ブレイントラスト)
廣井真由美(東横堀川水辺再生協議会)
廣瀬真理子(小さなお庭と猫の図書館)
御崎正之(つばき)
山根秀宣(北浜水辺協議会)
大阪市中央区役所市民協働課

この船場ガイドブック2017の制作にあたり
船場げんきの会が
公益財団法人東教育財団の地域文化事業助成
愛日地域活動協議会が
大阪市中央区地域振興活動補助金を受けています。